

令和 3 年度

青森市介護サービス事業者集団指導

資料

令和 4 年 3 月

青森県健康福祉部高齢福祉保険課

## 目 次

1	介護職員等による喀痰吸引等行為の実施について	1
2	介護支援専門員に係る留意事項について	7
3	青森県介護サービス事業所認証評価制度について	14
4	あおりりノーリフティングケア推進事業について	22
5	社会福祉法人等による生活困難者等に対する介護保険サービスに係る利用者負担額軽減制度について	23
<情報提供>		
	介護福祉士の離職時届出制度について	25

# 介護職員等による喀痰吸引等行為 の実施について

## 青森県 健康福祉部 高齢福祉保険課

### 1 介護職員等が喀痰吸引等を実施するためのこれまでの経緯

平成23年度まで 介護サービスの基盤強化のための介護保険法等の一部を改正する法律等

平成22年 特別養護老人ホームにおいて、一定の研修を受けた介護職員が口腔内の喀痰吸引、胃ろうによる経管栄養の喀痰吸引等を行うことが出来ることとされました。  
平成23年 平成24年度からの制度化に向け、県が喀痰吸引等研修を実施。（口腔内、鼻腔内の喀痰吸引、胃ろう又は腸ろうによる経管栄養）

その他の経過措置としてALS患者の在宅療養や盲・聾養護学校におけるたんの吸引など

平成24年度 社会福祉士及び介護福祉士法の改正

都道府県が行う「喀痰吸引等研修」を修了し、**「認定特定行為業務従事者」として県に登録した介護職員等は、県に登録された事業所（登録特定行為事業者）**において、一定の条件（医師の指示等）のもとに、喀痰吸引等の行為（特定行為）を実施できることとなりました。  
また、平成24年度以前に研修を受けた介護職員（経過措置者）及び事業所も登録が必要となりました。

平成28年度 介護福祉士国家試験受験における医療的ケア（講義と演習）の義務化

**平成28年度以降の介護福祉士国家試験に合格し、実地研修を修了していない介護福祉士に対し、事業所で実地研修を行うことができる「登録喀痰吸引等事業者」の規定が新たに追加**されました。

この改正を受け、県では、平成29年7月31日付けで「登録喀痰吸引等事業者の登録にかかる手引き」及び「登録喀痰吸引等事業者登録にかかるQ&A」を作成し通知しました。

※登録喀痰吸引等事業者は、県への事業者登録が必要

## 2 喀痰吸引等の特定行為、研修、事業者の区分

### 喀痰吸引等の特定行為の区分

喀痰吸引 ①口腔内の喀痰吸引 ②鼻腔内の喀痰吸引 ③気管カニューレ内部の喀痰吸引	経管栄養 ④胃ろう又は腸ろうによる経管栄養 ⑤経鼻経管栄養
---	-------------------------------------

※平成30年度から第1号、第2号研修において人工呼吸器装着者に対応した研修の募集を開始  
 ※令和2年度から半固形化栄養剤による経管栄養の研修の募集を開始

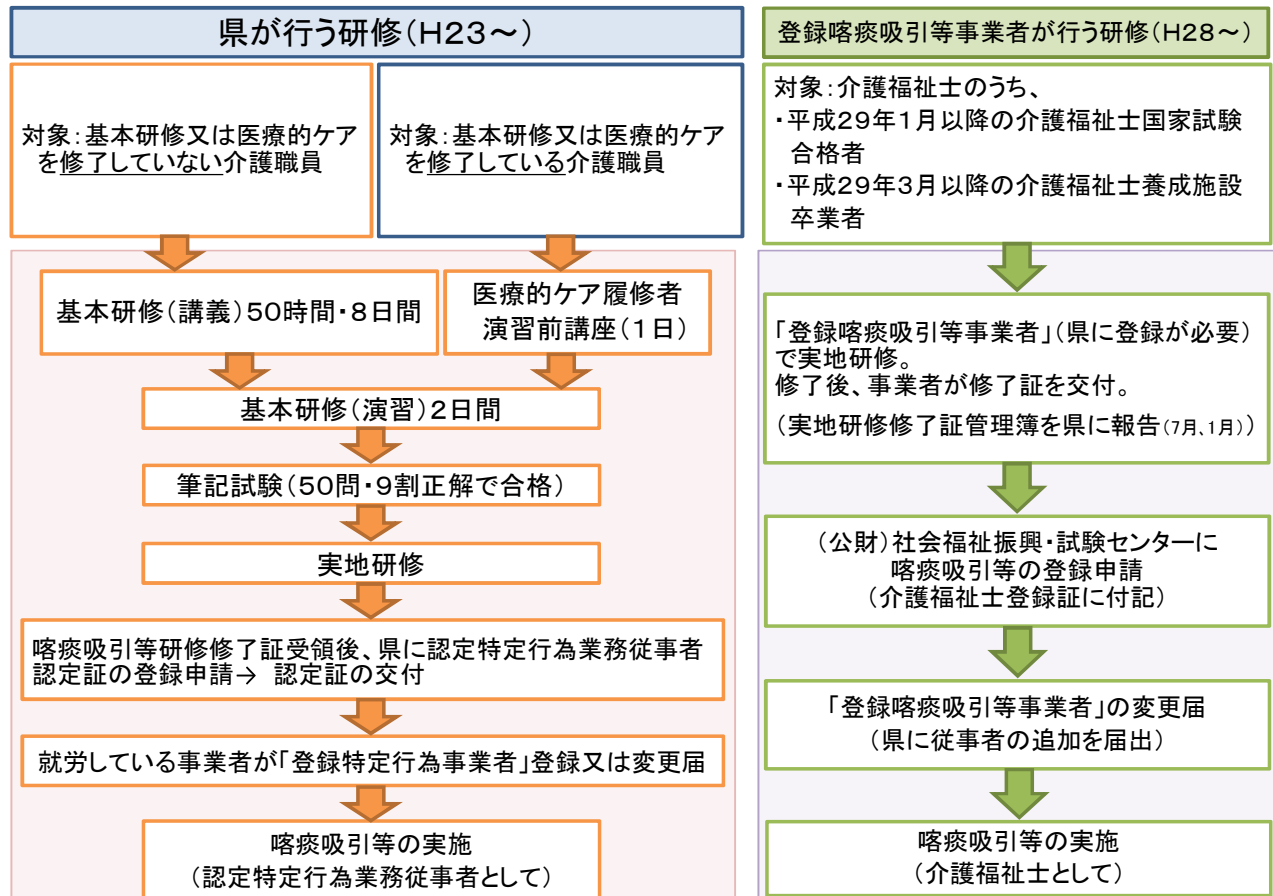
### 喀痰吸引等研修の区分

1. 第1号、第2号研修（不特定多数の者に喀痰吸引等を行うための研修） (1) 第1号研修 5つ全ての特定行為ができる者 (2) 第2号研修 1つから4つの特定行為ができる者	高齢福祉保険課
2. 第3号研修（特定の者にのみ喀痰吸引等を行うための研修） 特定行為は特定の者に対応したもの	障害福祉課

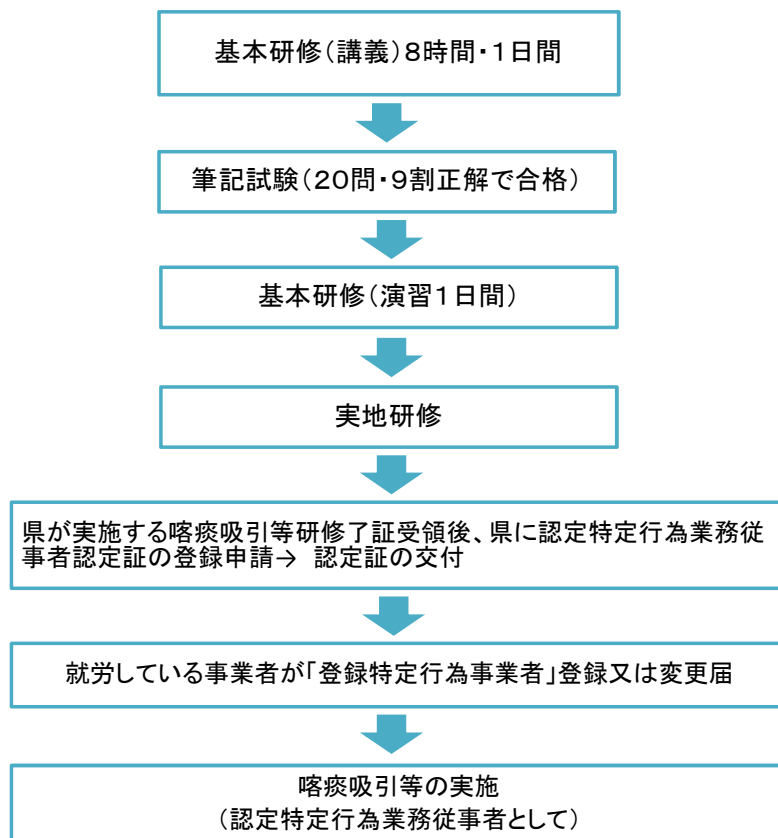
### 事業者の区分

- 登録特定行為事業者・・・認定証の交付を受けた介護職員等が喀痰吸引等を行う事業者
- 登録喀痰吸引等事業者・・・実地研修を修了した介護福祉士で（公財）社会福祉振興・試験センターに喀痰吸引等の行為の登録を行った介護福祉士が喀痰吸引等を行う事業者  
 （実地研修を修了していない介護福祉士（※）に対し、事業所で実地研修を行うことができる）  
 ※平成29年1月以降の介護福祉士国家試験合格者、平成29年3月以降の介護福祉士養成施設卒業生に限る

## 3 介護職員等が喀痰吸引等を実施するための手続き（第1号、第2号研修）



#### 4 介護職員等が喀痰吸引等を実施するための手続き(第3号研修)



#### 5 介護職員に関する手続

##### 申請に必要な書類(新規申請)

	認定特定行為業務従事者(H24~)	経過措置対象者(H23まで)
1	様式1-1(第1号、第2号研修修了者用の申請書)	様式2-1(経過措置者用の申請書)
2	様式1-2(第3号研修修了者用の申請書)	様式2-2(事業所誓約書)
3	様式1-3(誓約書)	様式2-3(本人誓約書)
4	住民票	様式2-4(第三者証明)
5	喀痰吸引等研修修了証写 (施設の原本証明が必要)	様式2-5(実施状況確認書)
6		住民票
7		喀痰吸引等研修修了証写 (施設の原本証明が必要)

##### 申請に必要な書類(行為の追加)平成29年度から

	認定特定行為業務従事者
1	様式1-6(第1号、第2号研修の行為追加申請書)
2	認定証の原本
3	喀痰吸引等研修修了証写(施設の原本証明が必要)

## 変更に必要な書類

	認定特定行為業務従事者(H24～)	経過措置対象者(H23まで)
変更	様式3-1(氏名、本籍、住所)	様式3-2(氏名、本籍、住所)
	変更事項前後の分かる資料(住民票や免許証の写しなど)	左同
再交付	様式4	左同
	県証紙 450円	左同
辞退	様式5-1	様式5-2
	認定証原本	左同
死亡等	様式6	左同

※結婚等により氏名が変わった場合は、変更届出書の提出が必要ですが、**再交付の申請は任意**です。

## 6 事業所登録に関する手続

### 申請に必要な書類(新規登録)

**登録は、事業所・施設(サービス)ごとに必要**となります。

	登録特定行為事業者	登録喀痰吸引等事業者
1	様式6-1(事業者登録申請書)	左同
2	登記簿	左同
3	定款	左同
4	様式6-2(特定行為従事者名簿)	左同
5	様式6-3(事業者誓約書)	左同
6	様式6-4(事業者登録適合書類)	左同
7	事業者登録チェックリスト (各種規程、マニュアル等の添付)	左同
8	喀痰吸引等業務方法書	左同
9		喀痰吸引等実地研修業務方法書
10		様式10(指導看護師名簿)

※ 既に登録特定行為事業者で、新たに登録喀痰吸引等事業者の登録を希望する場合は、2から8までは省略可

## 変更等に必要な書類

項目	登録特定行為事業者 登録喀痰吸引等事業者
行為の追加	様式7(更新申請書)
登録時の内容の変更(※)	様式8(変更登録届出書)
登録喀痰吸引等行為の一部または全てについて、登録の必要がなくなった場合	様式9(登録辞退届出書)
登録通知の再交付	登録通知再交付申請書、県証紙450円

### ※ 届出の必要な変更内容

- ・開設者に関する事項(法人代表者氏名・住所等)
- ・事業所の名称・所在地
- ・認定特定行為業務従事者の変更(採用、退職)など

## 7 登録に関する留意事項

### 従事者及び事業者

介護職員等が利用者に対し、喀痰吸引等の行為を行う場合は、**認定特定行為業務従事者の登録と事業者が登録特定行為事業者又は登録喀痰吸引等事業者として登録がなければ実施できません(研修を修了しただけではできません)。**

登録を受けずに特定行為を行った者は、30万円以下の罰金に処せられることとなりますので、十分注意してください(社会福祉士及び介護福祉士法附則第23条第1項第1号)。

なお、事業者の登録状況は県のホームページに掲載しています。

また、**職員の追加にかかる変更の届出が提出されていない事業者が見受けられますので、ご注意ください。**

### 登録特定行為事業者

事業所の新規登録手続には時間を要する場合がありますので、事業開始予定日の1ヶ月程度前までに申請されることを推奨します。

### 登録喀痰吸引等事業者

申請時に「平成29年1月以降の介護福祉士国家試験合格者」、「平成29年3月以降の介護福祉士養成施設の卒業生」、「公益財団法人社会福祉振興・試験センターに喀痰吸引等行為を登録した介護福祉士」のいずれかの職員がいる事業所に限りますので留意願います。

なお、認定特定行為業務従事者である介護福祉士が公益財団法人社会福祉振興・試験センターに喀痰吸引等行為を登録した後は、介護福祉士としてのみ喀痰吸引等行為を行うことになるため、事業所は登録喀痰吸引等事業者の登録が必要となります。

## 8 喀痰吸引等研修について

### 研修案内（第1号、第2号研修）

区分	対象者	募集開始	〆切予定
1号・2号研修	介護職員等	令和4年 4月上旬	5月中旬
指導看護師の伝達講習	指導する看護師		5月中旬
認定特定行為業務従事者実地研修前講座・演習	2号研修を修了し、新たに気管カニューレ内部の喀痰吸引、経鼻経管栄養を追加したい従事者		6月下旬
人工呼吸器追加講座・演習	・1号、2号研修を受講する者で、当該行為の追加を希望する者		5月中旬
半固形化栄養剤使用による経管栄養追加演習	・既に特定行為業務従事者であり、当該行為の追加を希望する者（経過措置者は対象外）		6月下旬

令和4年度研修実施要綱は、4月上旬に県ホームページに掲載予定です。個別通知は行わないためご注意ください。

### 研修案内（第3号研修）

区分	対象	募集開始	〆切予定
3号研修	介護職員等	令和4年 8月上旬	8月末
指導看護師の伝達講習	指導する看護師		

令和4年度研修実施要綱は、8月初旬に県ホームページに掲載予定です。個別通知は行わないためご注意ください。

### ホームページ

喀痰吸引等研修（第一号、第二号研修）について

<http://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kenko/koreihoken/kakutantoukensyu.html>

青森県喀痰吸引等関係登録について

<http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/welfare/kakutankyuuinnto-toroku.html>

青森県喀痰吸引等研修事業（第三号研修）について

<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kenko/syofuku/tankyuinkenshu-tokutei.html>

県庁ホームページ内で、「**喀痰 研修**」または「**喀痰 登録**」と検索してください。

### 問い合わせ先

高齢福祉保険課 介護保険グループ

電話 017-734-9298(直通)

FAX 017-734-8090

障害福祉課 障害福祉事業者グループ

電話 017-734-9308(直通)

FAX 017-734-8092



# 介護支援専門員に係る 留意事項について

青森県 健康福祉部 高齢福祉保険課  
介護保険グループ

## 資料の内容

---

- 1 介護支援専門員の資格について
- 2 主任介護支援専門員の資格について
- 3 居宅介護支援事業所の管理者について
- 4 介護支援専門員実務研修における  
実習受入協力事業所登録について

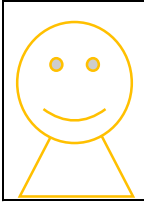
# 1 介護支援専門員の資格について

## (1) 介護支援専門員証の有効期間

- 交付を受けた**介護支援専門員証の有効期間は5年間**です。  
(有効期間満了日は介護支援専門員証に記載しています。)
- 有効期間を更新するためには、有効期間が満了する前に所定の研修を修了してから、有効期間の更新申請をしなければなりません。

## 介護支援専門員証のイメージ

【 表 】

介護支援専門員証	
	登録番号 02000000 <span style="border: 1px solid red; padding: 2px;">見本</span>
氏 名	青森 太郎
生 年 月 日	昭和〇〇年〇月〇日
交 付 年 月 日	平成〇〇年〇月〇日
有効期間満了日	平成〇〇年〇月〇日

上記の者は介護支援専門員であることを証明する。  
**青 森 県 知 事**

【 裏 】

< 注 意 >
(1) この証明書は、他人に貸与し、又は譲渡することはできない。
(2) この証明書を紛失したときは、直ちに発行者に届け出なければならない。
(3) この証明書は、新たな証明書の交付を受けたとき、登録名簿の移転等によって資格を失ったときは、直ちに発行者に返納しなければならない。

## (注意) 新型コロナウイルスの感染拡大による介護支援専門員証の特例的な取扱いについて

- 新型コロナウイルスの感染拡大によって令和2年度の専門研修及び更新研修が中止となったことに伴い、例年と研修を受講する時期にずれが生じております。

令和2年度更新対象の方 → 令和3年度専門・更新研修受講  
令和3年度更新対象の方 → 令和4年度専門・更新研修受講  
令和4年度更新対象の方 → 令和4年度専門・更新研修受講

- 併せて、介護支援専門員証の有効期間の取扱いに特例措置を設けております。

特例措置対象者	有効期間の取扱い
有効期間満了日がR2.4.1～R3.3.31までの間にある方	R4.3.31までは介護支援専門員の資格を喪失しない
有効期間満了日がR3.4.1～R5.3.31までの間にある方	R5.3.31までは介護支援専門員の資格を喪失しない

- 次回の更新手続き後の有効期間については、今回の特例的な取扱いに関わらず、**本来の有効期間満了日の翌日から**5年間更新されます。

## (2) 介護支援専門員証の有効期間が切れた場合

○介護支援専門員証の有効期間が切れた場合、「登録」自体は失効しませんが、**介護支援専門員として仕事に就くことはできません。**

○仮に、介護支援専門員証の有効期限が切れた状態で、介護支援専門員の業務を行った場合、本人の介護支援専門員の登録が削除されることもあります。また、**事業所も人員基準違反で介護報酬の返還が発生する可能性があります。**

### (3) 補足事項

○これまで、介護支援専門員証の有効期間の満了日が近づいた方等に対して、県から更新研修の案内を郵送でお知らせをしていましたが、今後、対象者個人宛の発送を行わない予定です。

(後述する、主任介護支援専門員の更新についても同様です。)

○介護支援専門員の更新研修は年に1回ですので、各自、県のホームページを確認するなどし、研修の受講漏れがないよう留意願います。

○住所変更の手続き漏れが多いため、転居された場合は登録事項変更届(第10号様式)を忘れずに提出してください。

### 必要な情報・様式など、詳しくは青森県庁ホームページをチェック

青森県ホームページ

<http://www.pref.aomori.lg.jp/index.html>

- ① 青森県庁ホームページ内のサイト内検索に「介護支援専門員」や「実習受入協力事業所」と入力し検索



クリック!

- ② 検索結果から「介護保険情報」「介護支援専門員関連」のページへ

#### 介護支援専門員(ケアマネージャー)関連 の情報

- 介護支援専門員に関する\_申請\_や\_届出\_について
- 介護支援専門員に関する\_研修\_について\_の情報
- 主任介護支援専門員更新研修修了者の介護支援専門員証有効期間の取扱いについて(お知らせ) (H29.7.14)
- 平成31年度(第22回)青森県介護支援専門員実務研修受講試験の実施について
- 平成30年度(第21回)\_青森県介護支援専門員実務研修\_受講試験\_結果 (H30.12.4)
- 介護支援専門員実務研修における実習の受入れについて (H28.12.27)

随時更新しています

## 2 主任介護支援専門員の資格について

○法令改正により、平成28年度から、主任介護支援専門員の資格は更新制（5年間）となり、更新するためには、有効期間内に「主任介護支援専門員更新研修（46時間）」を修了する必要があります。

○令和元年度に主任介護支援専門員更新研修の受講要件を一部見直しましたので、更新を予定されている方は県ホームページを確認してください。

○有効期間内に主任介護支援専門員更新研修を修了しない場合、主任介護支援専門員の資格は失効します。

○失効後、主任介護支援専門員の資格を取得するためには、再度「主任介護支援専門員研修」を受講しなければなりません。

主任介護支援専門員の資格が失効しても、有効期間内の介護支援専門員証をお持ちの場合は、通常の介護支援専門員として業務を行うことができます。

### 【主任介護支援専門員の有効期間】

〔平成28年度以降は、主任介護支援専門員研修修了証明書に記載〕

研修修了年度	有効期間
平成24年度～平成26年度まで（経過措置対象）	令和2年3月31日
平成27年度以降	研修修了日から5年間

### 【主任介護支援専門員更新後（更新研修修了後）の有効期間】

〔主任介護支援専門員更新研修修了証明書に記載〕

対象者	有効期間
平成28年度の主任更新研修 修了者	平成29年1月30日～令和4年3月31日
平成29年度以降の主任更新研修 修了者	主任更新研修修了日から5年間

※ 注）主任介護支援専門員の有効期間は研修修了証明書に記載されています。  
（主任介護支援専門員証はありません。）

### 3 居宅介護支援事業所の管理者について

○令和3年4月1日以降、居宅介護支援事業所管理者となる者は、主任介護支援専門員であることが要件になりました。

○ただし、令和3年3月31日時点で主任介護支援専門員でないものが管理者である居宅介護支援事業所については、当該管理者が管理者である限り、令和9年3月31日までは猶予となります。

○また、やむを得ない理由がある場合は管理者を介護支援専門員とする扱いが可能となります。詳しくは住所地の市町村へお問い合わせください。

### 4 介護支援専門員実務研修における 実習受入協力事業所登録について

平成28年度から介護支援専門員実務研修において、「ケアマネジメントの基礎技術に関する実習」を居宅介護支援事業所等で行うこととなりました。

また、平成28年11月22日以降、居宅介護支援事業所が特定事業所加算を取得する要件として、介護支援専門員実務研修における実習について、実習生の受入協力体制を確保することが必要となりました。

つきましては、特定事業所加算を取得される事業所は、実習受入協力事業所の登録申請を行う必要があります。

#### (1) 実習受入れの対象事業所

- ① 特定事業所加算を算定している居宅介護支援事業所
- ② 特定事業所加算の算定を予定している居宅介護支援事業所  
(主任介護支援専門員の配置が必須。)
- ③ 特定事業所加算の取得の予定がない居宅介護支援事業所のうち、主任介護支援専門員が配置されており、実習の指導体制が整っている居宅介護支援事業所。

## (2) 手続きの流れ

- ① 特定事業所加算の算定を予定しており、実習受入れに協力可能な居宅介護支援事業所は、青森県高齢福祉保険課介護保険グループまで「青森県介護支援専門員実務研修実習受入協力事業所登録申請書」（様式第1号）を提出する。
- ② 県は要件に適合する事業所を実習受入協力事業者として登録するとともに、申請者へ「青森県介護支援専門員実務研修実習受入協力事業所登録承認（不承認）通知書」（様式第2号）を送付する。  
（当該通知は特定事業所加算算定の届出を行う際必要となります。）
- ③ 特定事業所加算を算定する事業所は必要な書類を指定権者へ提出する。
- ④ ②により介護支援専門員実務研修実習受入協力事業所は、青森県介護支援専門員協会（実務研修実施機関）から実務研修実習受入依頼があった場合、原則として受け入れる。

## 法定外研修のご案内

- 青森県介護支援専門員協会では、県内の介護支援専門員を対象とした法定外研修を実施しております。
- 研修の案内は、協会ホームページや、「かigo応援ネットあおもり（<https://www.aomori-kaigo.net/>）」に随時掲載されます。

### (R3に開催した研修)

- 基礎資格別研修（介護職・医療職）
- 施設ケアマネ研修
- 介護支援専門員重点課題解決研修
- …等々



# 青森県介護サービス事業所 認証評価制度について

青森県 健康福祉部 高齢福祉保険課



# 青森県介護サービス事業所認証評価制度・認証事業所の御案内

【制度の目的】 ①質の高い介護人材の確保・育成 ② 利用者のニーズに合った質の高いサービスの提供

◎「介護サービス事業所認証評価制度」とは、

- ① サービスの質の向上を実践していること
- ② 職員を積極的に育成していること
- ③ 働きやすい職場づくりを推進していること
- ④ 地域と交流し、法令を守っていること



①～④に関する一定の基準をもって県が審査し、認証を付与するものです。

## 認証事業所

県が運営するホームページ上で「処遇改善・人材育成とサービスの質の向上に積極的に取り組む認証事業所」として情報を公表します。

介護サービス事業所の  
**見える化**

## 学生・求職者

就職にあたり知りたい情報がわかります。

## 介護職員

やりがいを持って働くことができます。

## サービス利用者・家族

自分のニーズに合ったサービスを受けられます。

【認証事業所一覧】（R3.2.18現在、44法人、♣は認証更新回数）

No.	法人名	本部所在地
1	八戸医療生活協同組合	八戸市
2	(有)すかい	青森市
3	(福)同伸会	八戸市
4	(福)青森社会福祉振興団	むつ市
5	(福)秋葉会	八戸市
6	(福)すすかけの里	青森市
7	(福)若菜会	五所川原市
8	(福)スプリング	八戸市
9	(福)緑風会	平川市
10	(福)嶽陽会	弘前市
11	(福)寿栄会	八戸市
12	(福)諏訪ノ森会	青森市
13	(福)柏友会	つがる市
14	青森保健生活協同組合	青森市
15	(福)みやぎ会	八戸市
16	(株)相成	弘前市
17	(福)桜木会	むつ市
18	(福)和幸園	青森市
19	(福)拓心会	五所川原市
20	(医)仁泉会	八戸市
21	(福)徳望会	階上町
22	(福)天寿園会	七戸町
23	(福)素心の会	五戸町
24	(医)サンメディコ	弘前市
25	(福)奥入瀬会	おいらせ町

No.	法人名	本部所在地
26	(福)津軽富士見会	弘前市
27	(福)三笠苑	平川市
28	(福)八千代会	むつ市
29	(福)弘前豊徳会	弘前市
30	(福)七戸福祉会	七戸町
31	(福)沢朋会	弘前市
32	(株)五所川原ケアセンター	五所川原市
33	(福)つがる三和会	弘前市
34	(福)平元会	青森市
35	(福)愛成会	弘前市
36	(福)清友会	青森市
37	(福)貴望会	横浜町
38	(福)快適福祉協会	六戸町
39	(福)八戸市社会福祉事業団	八戸市
40	(有)ながしま	青森市
41	(福)友の会	八戸市
42	(福)みろく会	八戸市
43	(福)宏仁会	平内町
44	(福)内湯療護園	中泊町

※ (福) 社会福祉法人、  
(医) 医療法人、  
(株) 株式会社、  
(有) 有限会社

R3年2月18日現在  
【参加宣言事業所】  
162事業者  
【うち、認証事業所】  
44事業者

◎ 認証事業所の詳細情報は下記ホームページでご覧いただけます。

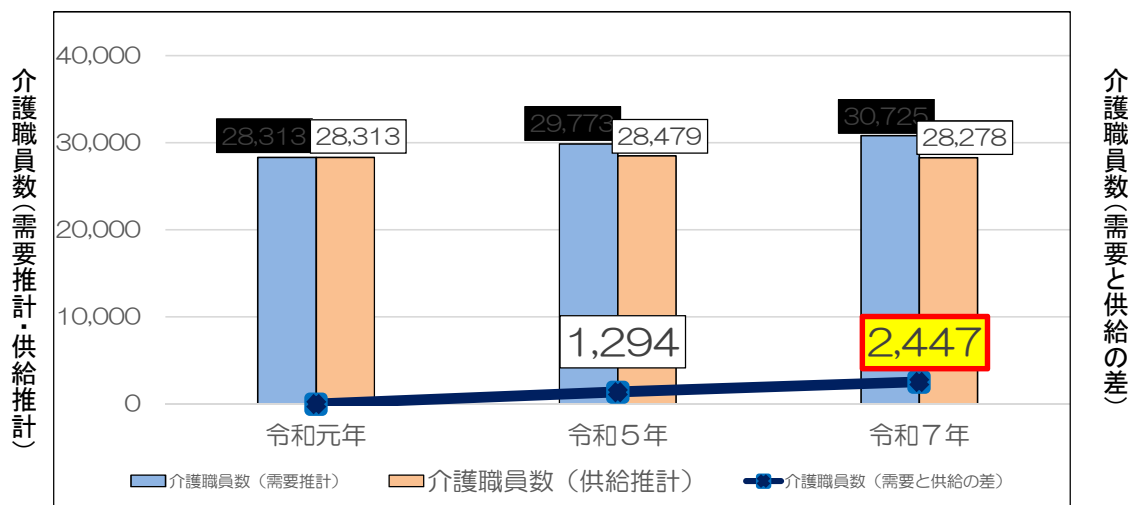
かいご応援ネットあomorい <http://www.aomori-kaigo.net/>

- 職員採用情報(給与、休暇、勤務体制等) ○ 正職員情報(職員構成、勤続年数、定着率等)
- 採用後のキャリアアップ支援(研修、キャリアパス(=キャリアの道筋)等) ○ 法人基本データ等



## 青森県の介護職員の需給推計

### ■ 介護職員は2025年に約2,450人不足する見込み



※厚生労働省が作成した「介護人材需給推計ワークシート」を用いて推計。

1

介護人材確保のためには、  
介護サービス事業所における

働きやすい職場づくり

より魅力ある職場づくり

の取組が最も重要です。

→ぜひ、認証評価制度へご参加  
くださるようお願いいたします。

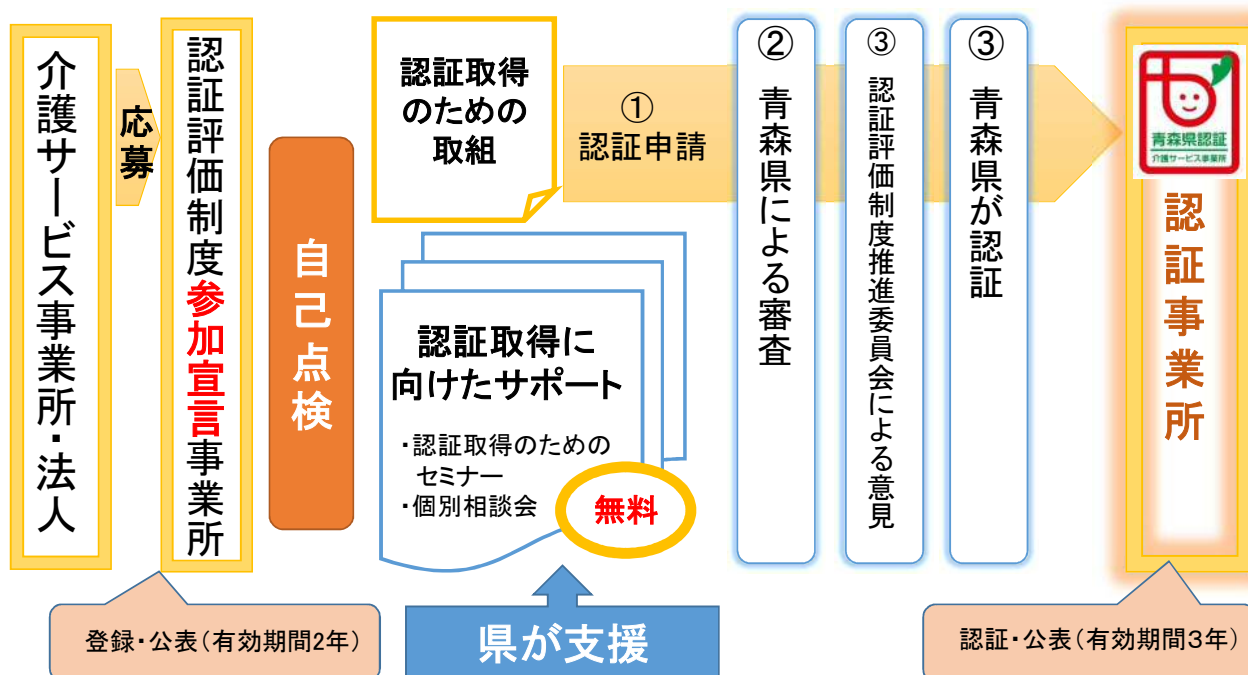
- まだ体制が整っていないから、参加宣言できない  
→ **×** 支援メニューをご活用いただくことで、体制を整えることが可能です。
- 参加宣言期間中に認証を取れなかったらペナルティがある  
→ **×** ありません。参加宣言を更新して取組を継続していただくことができます。

まずは**参加宣言**をして、  
**無料の支援メニュー**を活用して、  
1つでも2つでも**体制整備**を！

※ R4年度の支援メニューの日程等については、R4.4月以降にかいご応援ネットあおもりへの掲載等でお知らせいたしますのでご確認ください。

## 認証評価制度の流れ

制度への参加は**手挙げ**方式＝**参加宣言**からスタート



参加宣言事業所を対象に無料で各種支援を実施

## より魅力ある職場づくりに取り組む事業所への支援策

### (1) ガイドブック等

項目	支援内容
自己点検シート	認証取得を目指す事業者が、各自の現状が容易に把握できるシートを配布
ガイドブック	認証評価制度の概要と認証取得に向けた具体的な取組をまとめた冊子を配布

### (2) セミナー・個別相談

項目	支援内容
基礎セミナー	認証評価制度と評価項目の考え方を理解するためのセミナー
専門セミナー	認証基準を満たすために必要な制度の構築や計画の立案のためのセミナー ①給与制度、②労務管理、③新規採用者育成、④人材育成計画、⑤面談制度、⑥キャリアパス導入、⑦OJT指導者研修
参加宣言更新・自己点検セミナー	当該年度中に参加宣言期間満了を迎える事業所を対象としたセミナー
個別相談	認証取得に向けての課題整理、個別の課題についての助言等
現地個別相談	個別相談を活用の上、必要に応じて事業所に出向いて取組を支援

## 認証事業所のメリット

No	項目
1	県が実施する施設整備等の <b>各種補助金を優先的に採択</b>
2	青森県介護サービス事業者等指導における <b>実地指導頻度の緩和</b>
3	ホームページ「 <b>かいご応援ネットあおもり</b> 」で認証事業所として紹介
4	<b>就職相談会</b> 等において、求職者に対し認証事業所であることを周知
5	県主催の研修の優先的な受講決定
6	県の推薦が必要な助成制度、研修等において優先的に推薦
7	<b>特定事業所集中減算除外要件(※)</b> である正当な理由として考慮
8	介護職員の育児支援サービス利用等に対し、事業所が費用を一部負担する際の補助(青森県福祉・介護人材定着促進事業)
9	県内金融機関による <b>低利融資</b> (法人向け、従事者向け)
10	県が実施する企業就職説明会の優先的参加

※ 特定事業所集中減算除外要件の正当な理由の一つとして認証事業所であることを考慮しているものである(認証事業所ではない居宅介護支援事業所が認証事業所を紹介する場合も除外要件となる)。  
介護サービスは、利用者及びその家族が事業者を選択することが原則であるため、ケアマネージャーがケアプランの作成時において、利用者及びその家族に対し、事業所を選択するための判断に必要な情報を可能な限り提供していることを前提とし、この除外要件を運用している。(例:利用可能な複数事業所の情報提供など)

## ● **かいご応援ネットあomorい**

<http://www.aomori-kaigo.net/>



青森県介護人材確保・定着支援サイト  
かいご応援ネットあomorい

介護の仕事の魅力と介護の仕事に関する情報をお知らせします。

TOP 学生・一般求職者の方 サービス利用者・ご家族の方 事業者の方 教育機関の方 お問い合わせ

## ● 認証事業所や介護職の魅力を紹介する

### **TV番組**の制作・放映



## ● **介護福祉士養成施設・高校等**への周知

新規認証事業所情報、認証事業所一覧を県から送付

＜介護福祉士養成施設アンケート結果（R2.6実施）＞

「学生の就職先選択にあたり(又は学生に就職先を薦めるにあたり)重視していることは？」

→ 学校としては、青森県介護サービス事業所認証評価制度の認証施設を薦めている。

(複数校から同様の回答)



**別添「参加宣言書」をご提出の上、参加費無料のセミナーや個別相談等をご活用ください。**

※ R4年度の支援メニューの日程等については、R4.4月以降にかいご応援ネットあomorいへの掲載等でお知らせいたしますのでご確認ください。

## 参加宣言書

「質の高い介護人材の確保・育成」、「利用者のニーズに合った質の高いサービスの提供」に積極的に取り組むことを宣言します。

令和            年            月            日

法人名

代表者氏名

印

### <宣言事業所情報>

ふりがな 法人・会社名			
宣言事業所 (○で囲む)	法人・会社単位		事業所単位
法人・代表事業所 住所	〒	電話	

※別添事業所一覧に各事業所について記載をお願いします。

※事業所単位での参加宣言は、同一の介護サービス事業者において、人事・給与体系、研修制度が複数ある場合に限られます。

### <担当者情報>

所属			
担当者職・氏名			
電話番号・FAX	電話	FAX	
メールアドレス			

※担当者情報は、ホームページには公表いたしません。

※認証評価制度にかかる情報は、原則メールでの提供となりますので、メールアドレスは常時確認できるアドレスの記載をお願いします。

<宣言書の送付先>  
 公益社団法人 青森県老人福祉協会  
 〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階

## 事業所一覧

事業所名		
住所	〒	
サービス種別	<input type="checkbox"/> 訪問介護 <input type="checkbox"/> 訪問入浴 <input type="checkbox"/> 訪問看護 <input type="checkbox"/> 訪問リハビリテーション <input type="checkbox"/> 通所介護 <input type="checkbox"/> 通所リハビリテーション <input type="checkbox"/> 短期入所生活介護 <input type="checkbox"/> 短期入所療養介護 <input type="checkbox"/> 特定施設入所者生活介護（地域密着含む） <input type="checkbox"/> 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 <input type="checkbox"/> 夜間対応型訪問介護 <input type="checkbox"/> 認知症対応型通所介護 <input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護 <input type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護 <input type="checkbox"/> 居宅介護支援 <input type="checkbox"/> 看護小規模多機能型居宅介護 <input type="checkbox"/> 介護老人福祉施設 <input type="checkbox"/> 介護老人保健施設 <input type="checkbox"/> 介護療養型医療施設	
事業所名		
住所	〒	
サービス種別	<input type="checkbox"/> 訪問介護 <input type="checkbox"/> 訪問入浴 <input type="checkbox"/> 訪問看護 <input type="checkbox"/> 訪問リハビリテーション <input type="checkbox"/> 通所介護 <input type="checkbox"/> 通所リハビリテーション <input type="checkbox"/> 短期入所生活介護 <input type="checkbox"/> 短期入所療養介護 <input type="checkbox"/> 特定施設入所者生活介護（地域密着含む） <input type="checkbox"/> 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 <input type="checkbox"/> 夜間対応型訪問介護 <input type="checkbox"/> 認知症対応型通所介護 <input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護 <input type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護 <input type="checkbox"/> 居宅介護支援 <input type="checkbox"/> 看護小規模多機能型居宅介護 <input type="checkbox"/> 介護老人福祉施設 <input type="checkbox"/> 介護老人保健施設 <input type="checkbox"/> 介護療養型医療施設	
事業所名		
住所	〒	
サービス種別	<input type="checkbox"/> 訪問介護 <input type="checkbox"/> 訪問入浴 <input type="checkbox"/> 訪問看護 <input type="checkbox"/> 訪問リハビリテーション <input type="checkbox"/> 通所介護 <input type="checkbox"/> 通所リハビリテーション <input type="checkbox"/> 短期入所生活介護 <input type="checkbox"/> 短期入所療養介護 <input type="checkbox"/> 特定施設入所者生活介護（地域密着含む） <input type="checkbox"/> 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 <input type="checkbox"/> 夜間対応型訪問介護 <input type="checkbox"/> 認知症対応型通所介護 <input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護 <input type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護 <input type="checkbox"/> 居宅介護支援 <input type="checkbox"/> 看護小規模多機能型居宅介護 <input type="checkbox"/> 介護老人福祉施設 <input type="checkbox"/> 介護老人保健施設 <input type="checkbox"/> 介護療養型医療施設	
事業所名		
住所	〒	
サービス種別	<input type="checkbox"/> 訪問介護 <input type="checkbox"/> 訪問入浴 <input type="checkbox"/> 訪問看護 <input type="checkbox"/> 訪問リハビリテーション <input type="checkbox"/> 通所介護 <input type="checkbox"/> 通所リハビリテーション <input type="checkbox"/> 短期入所生活介護 <input type="checkbox"/> 短期入所療養介護 <input type="checkbox"/> 特定施設入所者生活介護（地域密着含む） <input type="checkbox"/> 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 <input type="checkbox"/> 夜間対応型訪問介護 <input type="checkbox"/> 認知症対応型通所介護 <input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護 <input type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護 <input type="checkbox"/> 居宅介護支援 <input type="checkbox"/> 看護小規模多機能型居宅介護 <input type="checkbox"/> 介護老人福祉施設 <input type="checkbox"/> 介護老人保健施設 <input type="checkbox"/> 介護療養型医療施設	



# あおもりノーリフティングケア推進事業

## 現状と課題

～介護の現場では～

- 働く上での悩み、不満、不安  
～腰痛・体力に不安がある→35.5%  
(平成29年度介護労働実態調査青森県版)
- 社会福祉施設における労働災害の約1/4が腰痛 (H27年発生状況・青森労働局)
- 持ち上げない介護、ノーリフティングケアの研修は好評であるが、根付かない。
- リフトを導入しても活用されない。  
→抱えた方が早い。福祉機器を使う抵抗感。



～利用者の立場では～

- 持ち上げる介護、引きずる介護による  
・体が痛い、関節拘縮、褥瘡を招くという**身体的負担**
- ・「介護職員に重い・きつい思いをさせている」という**精神的負担**



## 課題解決に向けて

### ノーリフティングケア導入

- ①ノーリフティングケアに取り組む意義や目的、正しいケア技術と適切な機器活用について学べる**研修**を提供
- ②**組織全体**で取り組む体制や風土をつくる
- ③実践施設による**成功事例**を創出



## ノーリフティングケアとは

介護する側・される側双方において安全で安心な  
**持ち上げない・抱え上げない・引きずらないケア**  
=身体の間違った使い方をなくし、対象者の状態に合わせ、適切にスライディングボードやリフト等の福祉機器を活用してケアを行う。



## 具体的な取組

### 1 あおもりノーリフティングケア推進研究会設置

・青森県のノーリフティングケアをどのように進めるかを協議する研究会を設置 (施設代表者、学識経験者、職能団体等)

### 2 指導者養成

・ノーリフティングケア指導者養成 (中央研修への派遣)

### 3 意識改革と体制づくり(組織を管理者と職員の両面から動かす)

- ①管理者向け研修  
・職場の労働安全衛生という視点を踏まえてノーリフティングケアを推進する必要性や期待される効果を伝える。
- ②事業所リーダー職員向け研修  
・力任せの介護が職員や利用者及家长に及ぼす影響をしっかりと認識した上で、正しいケア技術の習得や職場における課題分析と改善手法の検討を行う。
- ③先進モデル施設による成功事例の創出  
・組織全体でノーリフティングケアを実践するモデル施設  
・組織全体で総合的なマネジメント研修を受講  
→エビデンスに基づく情報を発信し、ノーリフティングケアを推進

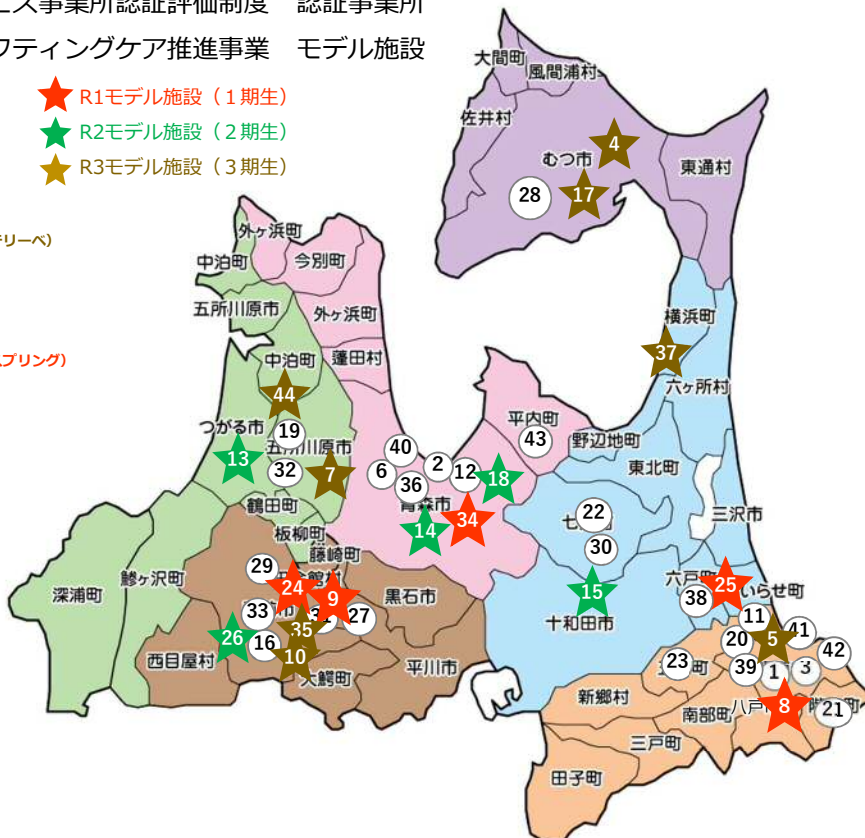
## 期待される効果

- ①介護職員の負担軽減 (腰痛改善)
- ②利用者の状態改善
- ③業務の効率化
- ④介護職員確保・定着 (働きやすい職場)
- ⑤介護の仕事のイメージアップ

## 青森県介護サービス事業所認証評価制度 認証事業所 あおもりノーリフティングケア推進事業 モデル施設

- ①八戸医療生活協同組合
- ②(有) すかい
- ③(福) 同伸会
- ④(福) 青森社会福祉振興団 (特別養護老人ホームみちのく荘)
- ⑤(福) 秋葉会 (特別養護老人ホーム彩香園アルテリアベ)
- ⑥(福) すずかけの里
- ⑦(福) 若菜会 (特別養護老人ホームあかね荘)
- ⑧(福) スプリング (特別養護老人ホーム福寿草インスプリング)
- ⑨(福) 緑風会 (特別養護老人ホーム緑青園)
- ⑩(福) 嶽陽会 (特別養護老人ホーム松山荘)
- ⑪(福) 寿栄会
- ⑫(福) 諏訪ノ森会
- ⑬(福) 柏友会 (特別養護老人ホーム桑寿園)
- ⑭青森保健生活協同組合 (看護小規模多機能型 居宅介護支援事業所ひまわり)
- ⑮(福) みやぎ会 (介護老人保健施設とわだ)
- ⑯(株) 相成
- ⑰(福) 桜木会 (特別養護老人ホーム桜木園)
- ⑱(福) 和幸園 (特養和幸園)
- ⑲(福) 拓心会
- ⑳(医) 仁泉会
- ㉑(福) 徳望会
- ㉒(福) 天寿園会

- ★ R1モデル施設 (1期生)
- ★ R2モデル施設 (2期生)
- ★ R3モデル施設 (3期生)



- ㉓(福) 素心の会
- ㉔(医) サンメディコ (介護老人保健施設ヴィラ弘前)
- ㉕(福) 奥入瀬会 (特別養護老人ホーム百石荘)
- ㉖(福) 津軽富士見会 (介護老人保健施設 ケアセンター弘前)
- ㉗(福) 三笠苑
- ㉘(福) 八千代会
- ㉙(福) 弘前豊徳会
- ㉚(福) 七戸福祉会
- ㉛(福) 沢朋会
- ㉜(株) 五所川原ケアセンター
- ㉝(福) つがる三和会 (特別養護老人ホーム正寿園)
- ㉞(福) 平元会 (特別養護老人ホーム弘前静光園)
- ㉟(福) 清友会
- ㊱(福) 真望会 (特別養護老人ホームなのはな苑)
- ㊲(福) 快通福祉協会
- ㊳(福) 八戸市社会福祉事業団
- ㊴(有) ながしま
- ㊵(福) 友の会
- ㊶(福) みろく会
- ㊷(福) 宏仁会
- ㊸(福) 内湯療護園 (特別養護老人ホームきり館)



## 社会福祉法人等による生活困難者等に対する介護保険サービスに係る利用者負担額軽減制度について

青森県 健康福祉部 高齢福祉保険課

### 社会福祉法人等による生活困難者等に対する介護保険サービスに係る利用者負担額軽減制度について

○本制度は、低所得者の介護保険サービスの利用促進の観点から、社会福祉事業の実施を任務とし、税制優遇措置等を受けている社会福祉法人が、低所得者の負担軽減を行うことは社会福祉法人本来の使命であるとの考えのもと、制度化されているものです。

○本事業は、社会福祉法人等の主体的な取組に基づく任意事業ですが、低所得者への支援策として重要な役割を果たしており、県内では平成29年度より、すべての市町村において本制度を実施する社会福祉法人等に対して、軽減した費用の一部を補助しています。

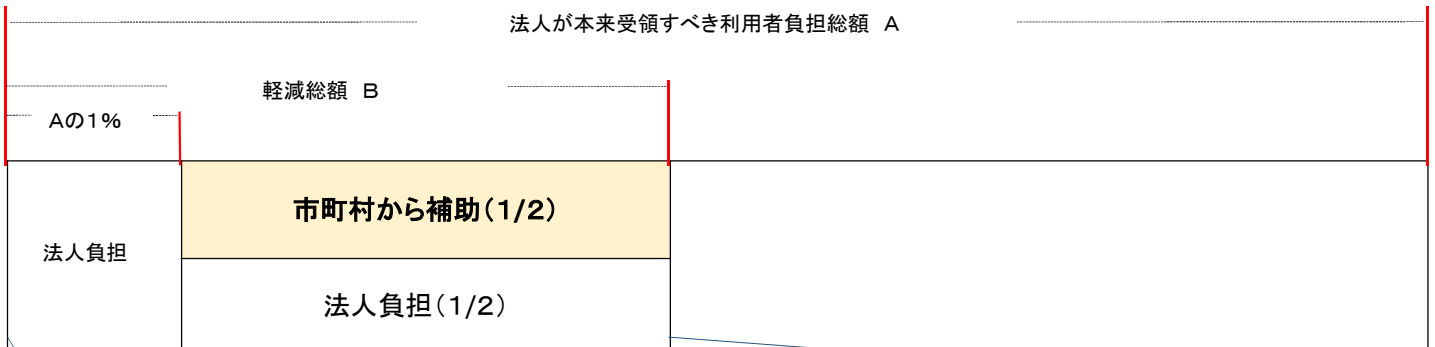
○令和3年8月から、介護保険の補足給付の要件及び食費の負担限度額の見直しにより、介護保険施設入所者等の負担が大きくなり、低所得者への更なる支援のために本制度の重要性が高まっています。**本制度を実施していない社会福祉法人等におかれましては、制度の趣旨をふまえ、本制度の実施についてご検討して下さるようお願いいたします。**

○本制度を実施しようとする社会福祉法人等は、関係市町村と協議の上、県に対して「社会福祉法人等による利用者負担軽減申出書」を提出してください。

※申出書については、県ホームページからダウンロードしてください。

(参考)

社会福祉法人等による生計困難者等に対する介護保険サービスに係る利用者負担額軽減制度事業



	生計困難者	生活保護受給者	生活扶助基準額見直しに伴う特別措置対象者
対象サービスに係る1割負担	¼ 軽減	※生活保護	¼ 軽減
食費	¼ 軽減	※生活保護	¼ 軽減
居住費		全額軽減	全額軽減

ホームページ

社会福祉法人による低所得者に対する介護保険サービスに係る利用者負担額の軽減制度について

[https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kenko/koreihoken/teisyotokusyagenmen\\_jissijoukyo\\_u.html](https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kenko/koreihoken/teisyotokusyagenmen_jissijoukyo_u.html)

県庁ホームページ内で、「負担軽減制度」と検索してください。

問い合わせ先

高齢福祉保険課 介護保険グループ

電話 017-734-9298(直通)

FAX 017-734-8090

# せつがくの、 資格。

介護福祉士等  
の資格をお持ちの  
皆さんへ



2017年  
4月より

## 介護福祉士等の資格保有者を生涯支える 離職時の届出制度スタート

登録すると、復職支援のための **求人紹介** **技術研修** などのサポートも。

社会福祉法の改正により、2017年4月1日から介護福祉士資格をお持ちの方は、離職時に都道府県福祉人材センターに届出ることが努力義務となりました。また、努力義務ではありませんが、就業中でも介護福祉士資格をお持ちの方は届出ができます。さらに、介護職員初任者研修、介護職員実務者研修、旧ホームヘルパー養成研修1級・2級課程、旧介護職員基礎研修を修了された方もぜひ、ご登録ください。

対象資格・研修

介護福祉士

介護職員  
初任者研修

介護職員  
実務者研修

旧ホームヘルパー  
養成研修1級・2級課程

旧介護職員  
基礎研修

登録は  
こちらから



全国社会福祉協議会・中央福祉人材センター 都道府県社会福祉協議会・都道府県福祉人材センター

福祉のお仕事